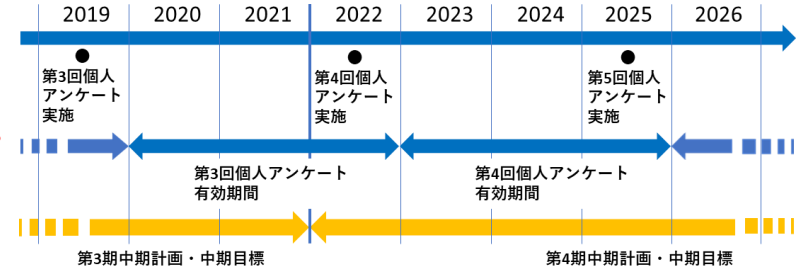


研究設備マスタープラン策定方法について：研究者個人アンケート

【設備マスタープランとは】

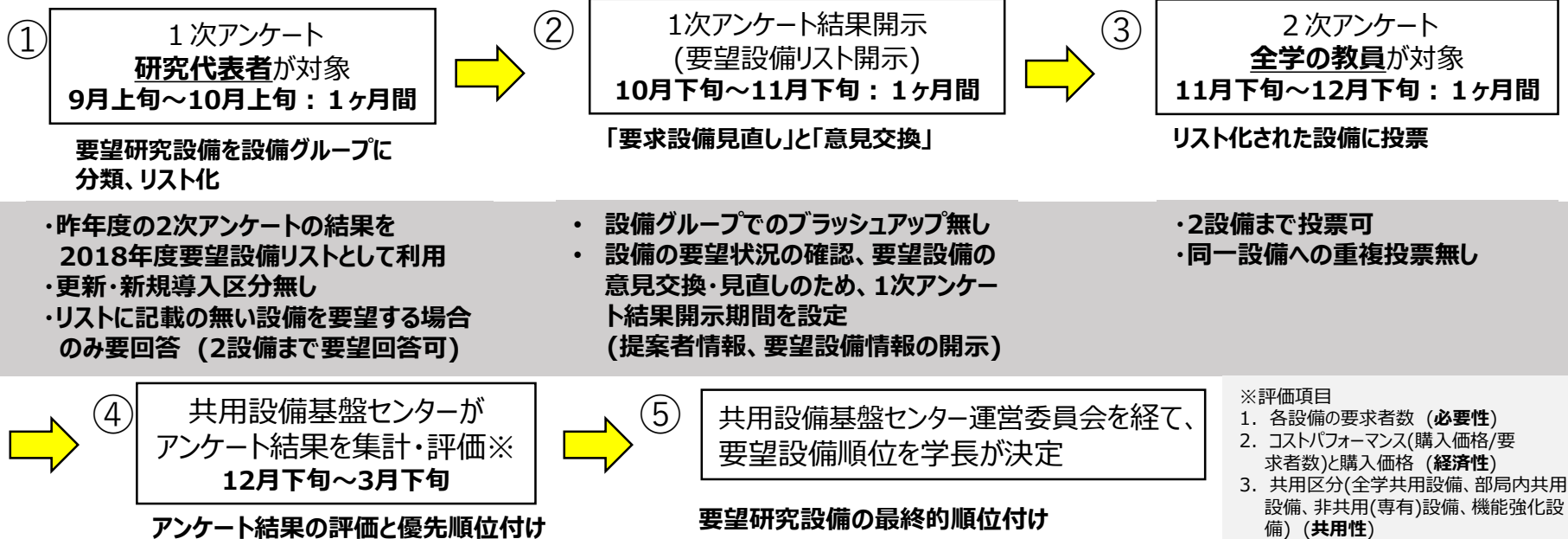
1,000万円以上の研究設備を対象とした整備計画。個人アンケートでは**2段階のアンケート**を実施し、必要性、経済性、共用性による要望設備の定量的評価に加えて、中期目標・中期計画との整合性を踏まえて、要望設備の順位付けを行い設備マスタープランとする。**本アンケートは中期計画・中期目標期間の初年度及び中間年度に(3年毎)実施し、マスタープランを更新する。**

- 有効期間：アンケート実施の翌年度から次回アンケート実施年度までの3年間とする（右図参照）。
- 有効期間(3年間)での設備導入目標：アンケート上位の3設備とする。
- 要望設備の金額：7500万円(*)を目安としてそれを超える金額の要望設備を**要望設備(高額)**とする。
*有効期間(3年間)で学内予算において確保できる財源額の概ね1/2の金額
- 要望設備(高額)の取扱：以下、条件を満たす設備を概算要求設備とする。
 - ① 要望設備(高額)の得票1位
 - ② 要望設備(高額)を除く個人アンケートの上位5番目と同等以上の得票を得ている



研究者個人アンケート*の流れ

(*アンケートの実施方法はインターネットアンケートとする。)



- ※評価項目
1. 各設備の要求者数 (必要性)
 2. コストパフォーマンス(購入価格/要求者数)と購入価格 (経済性)
 3. 共用区分(全学共用設備、部局内共用設備、非共用(専有)設備、機能強化設備) (共用性)
 4. 中期目標・中期計画との整合性

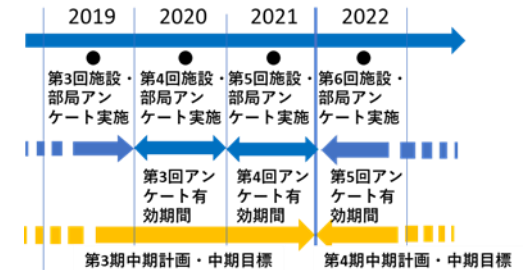
・順位付けに際して設備グループ毎の合計評価は行わない

研究設備マスタープラン策定方法について：施設・部局アンケート

【施設・部局アンケート対象設備】

研究者個人アンケートでは対象とはなりにくい研究設備で、施設・部局の研究戦略上必要な設備、共用施設の運営に必要な設備、法令に基づき整備すべき設備を対象とする。教育を主たる目的とする設備と医療機械設備は対象としない。
施設・部局アンケートは毎年実施し、マスタープラン更新を行う。

- アンケート有効期間：アンケート実施の翌年度の1年間とする（右図参照）。
- アンケートの取扱：共用設備基盤センターにて施設・部局アンケートの集計・評価に基づく設備ランキング案を作成する。概算要求(基盤設備)の設備の基礎資料として用いられる。
- アンケート実施頻度：概算要求(基盤設備)の設備選定に際して、政府の方針等の状況を考慮する必要があること、法令改正等に基づき整備すべき設備があることから、毎年実施とする。



施設・部局アンケートの流れ

